

NEWSLETTER AUGUST 2023
Vol. 52

CONTENTS

- 新規会員からの自己紹介
- 関震協ホームページ更新情報 (<http://www.ceorka.org/>)
- 会員動向
- 観測記録の収集状況

■ 新規会員からの自己紹介

柏 尚稔 (大阪大学工学研究科)

2022年7月5日入会



2021年9月より大阪大学大学院工学研究科にて教鞭を取っております柏尚稔と申します。2022年度より関震協に入会させていただきました。実は2014年まで関震協の会員でしたが、関東の公的研究機関への転出により退会しており、関震協には新規入会というよりも復帰となります。2014年までは研究者の卵の立場で関震協に参加させて頂き、緻密な地震観測や防災の啓蒙活動を目の当たりにし、関震協は関西の地震防災に無くてはならない重要な協会であるという認識を持っています。8年ほど不在にしましたが、その間の経験を存分に活用して、関震協の素晴らしい活動を積極的に支えたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

地元孝輔 (香川大学創造工学部創造工学科)

2022年7月12日入会



これまでの研究では、連続強震観測記録を用いて大規模堆積平野における盆地生成表面波の伝播特性について調べたり、レシーバー関数や自己相関関数によって堆積盆地の地震基盤における重複反射波を抽出して堆積層構造を推定したりしてきました。連続強震観測の重要性に改めて気付かされ、連続強震観測によって盆地内を伝播する地震波の理解を深めることができるであろうと考えています。連続記録は地震波干渉法を適用することで堆積層構造を推定することにも大いに役立ちます。

金子健作 (大阪公立大学大学院工学研究科)

2022年7月27日入会



2021年10月に大阪公立大学に着任しました。専門は建築物の免制振技術です。昨今、技術のさらなる普及には、非専門家に対して制振効果を分かりやすく伝えることが求められています。その一助として、現在は都市規模を対象とした地震被害推定の研究に取り組んでいます。この研究は、深層学習(いわゆる人工知能)を援用して、多数の強震観測記録と国交省が整備中の3D都市モデルデータを組み合わせ、建物一棟ずつの即時被害推定を目指すものです。このために、CEORKAの記録も利用していく予定です。今後、建物耐震性に関する研究者の立場から、関西地区に貢献したいと考えています。

長嶋史明 (京都大学防災研究所)

2022年9月7日入会



京都大学防災研究所 地震災害研究センター 地盤震動研究領域 准教授の長嶋史明と申します。研究は主に地震動や微動を用いた地盤構造同定および強震動予測・地震被害予測について行っています。微動は自分で計測に行きますが、地震動は余震観測以外は既設の地震観測網で得られた記録を使用させていただいています。地震観測網を常設し維持管理を行い、得られた記録を公開してくださる機関には大変感謝しております。関震協も多数の地震計を関西圏に設置し長年観測を行っており、今後の観測網の益々の充実を期待しています。

■ 関震協ホームページ更新情報

<http://www.ceorka.org/>

- ◆ 2023年7月27日 「入会のご案内」を更新しました。
- ◆ 2023年7月26日 【会員専用】「会員のページ」の「会合資料・議事録」に、第38回総会の資料・議事録(案)を掲載しました。
- ◆ 2023年7月18日 「入会のご案内」内の関震協規約を更新しました。
- ◆ 2023年7月1日 「関震協の概要」、「組織名簿」、「入会のご案内」を更新しました。
- ◆ 2023年5月22日 【会員専用】「会員のページ」に、ニューズレターの最新号 (Vol.51; 2023年5月号) を掲載しました。
- ◆ 2023年5月22日 「ニューズレター」に、Vol.50 (2023年5月号) を掲載しました。
- ◆ 2023年5月18日 「成果利用文献 (関震協活動成果利用文献リスト)」を更新しました。

■ 会員動向

2023年5月～7月の会員動向です。

2023年7月入会

- ・ 風間卓仁 (京都大学大学院理学研究科)

■ 観測記録の収集状況

2023年5月1日-7月31日の期間に関震協で収集された地震記録について、記録イベント数と震源分布を以下に示します。

◎記録イベント数：105

<最大速度記録>

記録日時 2023/05/05, 14:42

最大速度 0.88 cm/s 最大計測震度 2.1

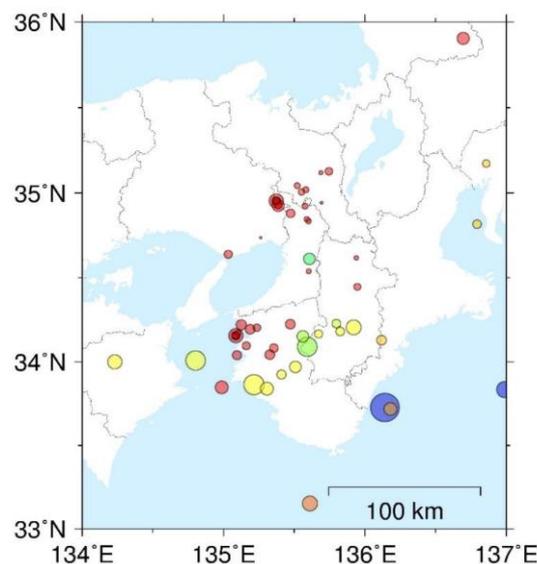
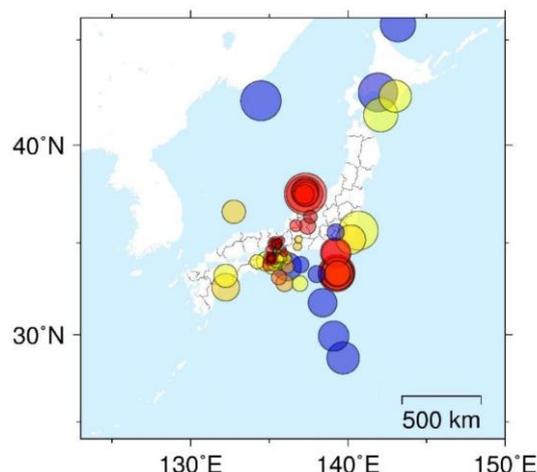
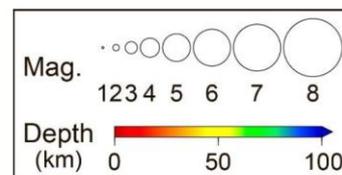
震源時刻 2023/05/05,14:42:04.10

震央緯度 37.539度, 震央経度 137.304度

震源深さ 12.1 km, Mj 6.5

地域名 能登半島沖

※ 震源情報は気象庁一元化震源処理の震源要素



～ニューズレターへの寄稿のお願い～

会員各位からの、近況、活動報告、研究報告等、ご寄稿をお願いします。寄稿は随時受け付けております。800字程度以下で、事務局あてにお送りください。本文とともに、タイトルと執筆者情報（氏名、ご所属など）を合わせてお送り願います。

関西地震観測研究協議会 広報分科会
NEWSLETTER Vol. 52 2023年8月22日発行

関西地震観測研究協議会 事務局
大阪市中央区大手前 2-1-2 国民会館大阪ビル 6階
一般財団法人 GRI 財団 内
電話 06-6941-8800 / FAX 06-6941-8882

E-mail ceo-info@geor.or.jp
Web <http://www.ceorka.org/>